

手稲溪仁会病院 赴任のお知らせ

不育症センター長

オンコロジーセンター ゲノム医療センター長

山田 秀人

この度、令和3年1月1日より、手稲溪仁会病院 不育症センター長 兼 オンコロジーセンター ゲノム医療センター長に着任いたしました。手稲溪仁会病院が不育症医療ならびに臨床遺伝学診療の拠点として、一層発展するために貢献する所存です。

私は、北海道大学医学部を昭和59年(60期)に卒業しました。天使病院、苫小牧市立病院で研修をした後、国内外留学で基礎研究を行い、北海道大学産婦人科で助手、講師、准教授を経て、平成21年から神戸大学産科婦人科で教授を務めておりました。コロナ禍の折、健康と家族のために長い単身赴任生活に別れを告げました。生まれ故郷の北海道で70歳まで現役を目指して、自分の専門性をさらに高めたい所存です。

私の専門は、周産期医学、母子感染、不育症、抗リン脂質抗体、合併症妊娠、出生前診断、胎児治療、生殖医学です。日本産婦人科感染症学会の理事長として、母子感染、性感染症、感染性早産、新型コロナウイルス感染の予防に尽力しています。我々が新発見したネオセルフ(β 2GPI/HLA-DR)抗体は、不育症、妊娠高血圧症候群、胎児発育不全の原因であることを解明しつつあります。1993年に私が世界で最初に行った原因不明不育症(習慣流産)への免疫グロブリン大量療法は、全国多施設治験が完了し有効性が認められました。

私の外来は現在、毎週水・木曜日の14時から16時です(以外でも適宜対応します)。AMED研究代表者として、不育症、不妊症、産科異常の患者は、ネオセルフ抗体を無料で測定することができます。患者さまをご紹介をしていただきたく、よろしくお願い申し上げます。



<略歴>

苫小牧市立総合病院、北海道大学病院、神戸大学医学部附属病院

<専門医>

日本産科婦人科学会産婦人科専門医・指導医、日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医、日本生殖医学会生殖医療専門医、日本女性医学学会女性ヘルスケア暫定指導医、日本不育症学会暫定認定医

<所属学会・役職>

日本産婦人科感染症学会理事長、日本生殖免疫学会常任理事、日本女性栄養・代謝学会常任理事、日本不育症学会理事、日本母性衛生学会理事、日本生殖医学会評議員、日本周産期・新生児医学会評議員、日本妊娠高血圧学会評議員、日本母体胎児医学会幹事、新胎児医学研究会幹事、日本糖尿病・妊娠学会評議員、日本女性医学会、日本免疫学会、日本血栓止血学会、日本性感染症学会、周産期新生児感染症研究会代表世話人、日本産科婦人科学会周産期における感染に関わる小委員会委員長

【お問い合わせ先】

医療法人 溪仁会 手稲溪仁会病院 患者サポートセンター TEL/011-685-2904
札幌市手稲区前田1条12丁目1-40